

学年・組	第6学年2組	期 日	平成24年6月29日	授業者	佐藤和行
------	--------	-----	------------	-----	------

単元名 書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読む

この単元を通して児童につけさせたい言語能力
 ・複数の文章を比べて読み、読み手を説得するための工夫がどのようになされているかを読み取る力。
 ・書き手の意見について自分はどうに考えるか意識しながら読み、文章を評価する力。

この単元で重点化する指導事項

領域	A 話すこと・聞くこと	指導事項	ア話題設定や取材 イ話すこと ウ話すこと エ聞くこと オ話し合うこと
	B 書くこと		ア課題設定や取材 イ構成 ウ記述 エ記述 オ推敲 カ交流
	C 読むこと		ア音読 イ効果的な読み ウ説明的な文章の解釈 エ文学的な文章の解釈 オ自分の考えの形成及び交流 カ目的に応じた読書
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		

上記の指導事項を踏まえて設定する言語活動

設定した言語活動 (言語活動例)	同じテーマに対する新聞の投書を、書き方に注意しながら複数比べて読む活動。
設定理由	同じテーマに対する新聞の投書を複数比べて読むことで、読み手を説得するための理由付けの仕方や根拠の挙げ方の違い、また意見文の構成の共通点をとらえるため。
設定した言語活動の 系統	(1) 下学年での学習経験 なし・ あり 【第5学年 新聞記事を読み比べよう】 (2) 上学年へのつながり(第6学年までのつながり) なし ・あり【第〇学年「 」】

以上のことを踏まえ、家庭学習も考慮した指導計画

時	到達目標(活動目標)【評価】	学習活動	家庭学習	指導事項
事前			・新出漢字の練習をする。 ・語句の意味調べをする。	
1	教材のねらいを確かめ、新聞の投書について理解することができる。【関・読】	教材のねらいを確かめ投書について知る。 四つの投書を読んで内容に触れる。	・実際の新聞の投書を読む。 ・投書①と②を比べて読み、主張と理由・根拠を分類する。	C(1)イ
2	投書①と②を読んで、それぞれ書き手の意見や主張、その理由や根拠をとらえることができる。【読】	二つの投書(①②)を読み、それぞれの書き手の意見や主張、その理由や根拠をとらえ、書かれている内容を確認する。	・実際の新聞の投書を読む。 ・投書③と④を比べて読み、主張と理由・根拠を分類する。	C(1)イ
3	投書③と④を読んで、それぞれ書き手の意見や主張、その理由や根拠をとらえることができる。【読】	二つの投書を(③④)読み、それぞれの書き手の意見や主張、その理由や根拠をとらえ、書かれている内容を確認する。	・実際の新聞の投書を読む。 ・構成の分りにくい投書を読む。	C(1)イ
4	それぞれの投書の構成をとらえることができる。【関・読】	四つの投書の文章構成を比べながら確認し、整理する。	・実際の新聞の投書を読む。 ・理由や根拠の曖昧な投書を読む。	C(1)ウ
5	それぞれの投書の説得の工夫をとらえることができる。【関・読】	四つの投書の理由・根拠挙げ方の工夫を比べる。	・投書①～④でどの投書に納得するかを比べて評価カードを記入する。家族・自分の知識や経験と照らし合わせる。	C(1)ウ
6 本時	自分が納得できる投書の一つを選び、納得した理由を明確に書くことができる。【関・読・書】	四つの投書の中から自分が納得できるもの一つを選び、なぜ納得したのか理由を明確にして書く。	・一つの投書に対する意見文を書く。	C(1)ウ B(1)ウ

本 時	
目標 自分が納得できる投書の一つを選び、納得した理由を明確に書くことができる。	
展 開	
段階	学 習 活 動
導 入 (5分)	1 一般の新聞投書についてのペアトークをする。 2 本時の課題を確認する。 自分が納得する投書の一つを選び、その理由を書こう。
展 開 (50分)	○留意事項 と ☆支援 ○読んでみての自分の感想をペアトークさせる。 ○学習計画で本時が単元のまとめの学習であることを確認する。 3 投書①②③④を音読し、書いてある内容を確認する。 (1) 投書の構成を確認しながら音読する。 4 家庭学習でやってきた評価カードを元に、納得した投書について交流する。 (1) どの投書の評価が高かったかグループトークをする。 (2) 自分がどの主張・意見に納得することができたか発表する。 5 自分が納得した理由が明確になるように選んだ投書について書く。 (1) どの、理由や根拠に納得したか考える。 (2) 自分や家族の知識や経験と結びつけることはできないか考える。 (3) 自分の選んだ投書を書く。 (4) 納得した理由を書く。 6 自分が選んだ投書について交流する。 ○構成の共通点、理由・根拠の相違点を確認しながら投書①②③④を通してまとめの音読をさせる。 ○音読の形態などを工夫し集中して読めるようにする。 ○どの投書の評価したのかを交流させる。 ○選んだ理由や根拠、また家庭学習で調べた家族の意見などに関連づけて交流させる。 ☆数人発表させ、書くときの参考となるようにする。 評価規準 【関・意・態】 これまでの学習や家庭学習を参考に進んで工夫を読み取ろうとしている。 【読む能力】 書き手の意見について、自分はどのように考えるか意識しながら、それぞれの投書を読んでいる。 【書く能力】 読み手に自分の考えが伝わるよう、理由を明確にして書いている。 ☆ なかなか書けない児童には書き出しの言葉を助言する。
終 末 (5分)	7 本時・単元の学習を振り返る。 (1) 学習の目標が達成されているかを確認する。 (2) 振り返りカードを記入する。 8 今日家庭学習を確認し、次の単元の学習を想起させる。 ○単元を振り返りながら家庭学習をしたことが授業につながったことを感じられるようにする。 ○次の単元では自分で意見文を書くことを意識させる

プロの野菜づくりを目指したい

高校生 小俣 翔太
(前橋市 18)

私はいま、農業高校に通っています。学校では、野菜を始め、農業に関わる様々なことを学んでいます。

私は野菜を育てるのが大好きです。その理由は「いつ食べられるようになるのだろうか?」という楽しみがあるからです。花が咲くまでは成長を楽しむことしかできませんが、やがて野菜

の形をしてくるようになると「頑張って世話をしたかいがあった」と思います。

そして、しばらくの間、食べられるようになるまで育つのを待ち、収穫します。自分で育てた野菜が食卓にあがると、そのおいしさに感動するのです。

これからも野菜が大好きな気持ち、農業が大好きな気持ちを大切に持ち続けたいと思います。そして高校を卒業する頃には、プロの野菜づくりができるようになりたいです。将来は、自分の家に野菜がいっぱい実る畑と、たくさんの植物が花を咲かせる庭をつくりたいです。

6月9日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より

グッピーはぼくのともだちだ

小学生 木戸 穂綺
(広島県神石高原町 9)

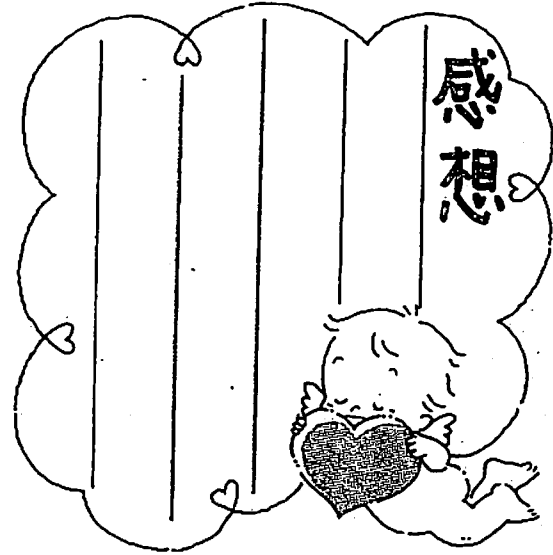
ぼくの家はグッピーを飼っています。家に帰るとすぐに、グッピーが泳ぐ水そうを見てみます。ぼくが気に入っているのは、にじいろのグッピーで「むらさき太郎」という名前をつけました。

グッピーは全部で5ひきいるのですが、むらさき太郎だけは元気がありません。泳ぐのです

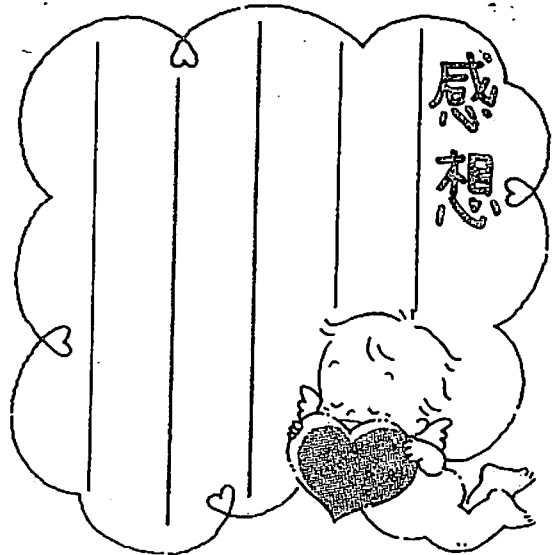
が、すぐに水そうの下に落ちて行きます。ぼくが水そうのガラスをコンコンとたたくと、近くによってきます。そんなとき、この子はぼくになついているのかなぁーと思います。お母さんやお父さんは「この子が亡くなるまで大切にしていってね」と言いました。

その3日後、むらさき太郎は死んでしまいました。ぼくはかわいそうに思いました。だから、ぼくの部屋から見えるところにおはかをつくりました。おはかのそばには、むらさきいろのスマイレの花がさいています。もしかすると、むらさき太郎がさかせたのかなぁーと思いました。

6月9日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より



名前



地域の自然を生かした発電を

大学生 岩佐 興城
(東京都八王子市 19)

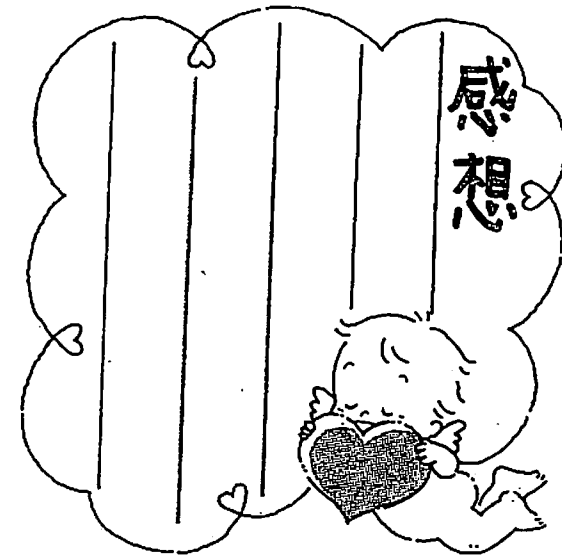
東京電力福島第一原発の事故以降、原子力発電に対する見方は厳しくなり、自然エネルギーへの転換を求める声をよく耳にするようになりました。自然エネルギーといえば、太陽光、水力、風力、地熱などがありますが、それらを有効活用するために、私は、日本の各地域の自然特性を最大限生かした発電方法を導入するべき

であると考えます。

例えば、私の出身地は福井県ですが、福井県がある北陸地方は河川が多いため、北陸電力の発電量における水力発電の占める割合は、他の電力会社と比べて高くなっています。

太陽光発電なら日照時間が長く晴天の日数が多い地域、風力発電なら風が比較的安定して吹いている場所、地熱発電なら温泉地帯と、地域の気候、風土などを生かすことで、自然エネルギーによる発電量を最大限に引き上げていく。そうすることで、原子力発電への依存を減らすことができるのではないのでしょうか。

6月9日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より



名前

自転車のマナーを考えよう

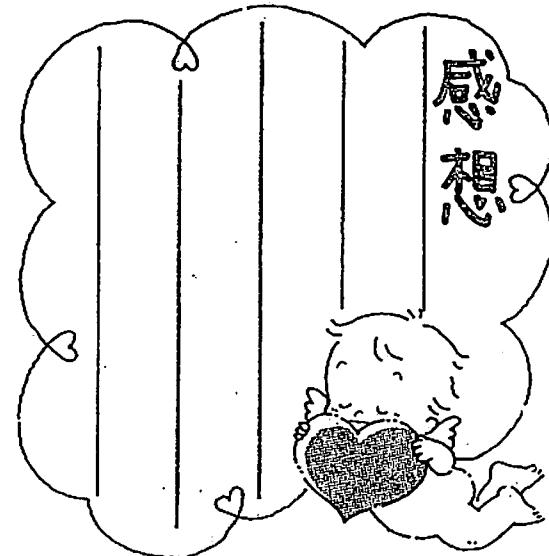
高校生 功刀 彩
(甲府市 15)

私は自転車で高校まで通っていますが、気になるのが自転車のマナーです。夜にライトもつけずに右側走行する女性。イヤホンを耳につけ、ぶつかっても口ひとつ開かない高校生。公道で自転車競走をしている小学生。10人以上の集団で右側を並列走行する大学生。たばこを吸いながら走行するサラリーマン……。

挙げ始めればキリがありませんが、全部、実際に私が目にしたもののばかりで、見かけない日はありません。これらの行為はどれも危険で、交通事故がいつ起こってもおかしくないと思います。事実、私は何度かそのような人とぶつかった経験があり、危ない思いをしました。

なかには「けがをするのは自分なのだから、どうしようが勝手だ」と思う人がいるかもしれませんが、多くの事故は一人で起こすのではないと思います。周りの誰かを巻き込むのです。いま一度、自分自身の自転車の乗り方について考える必要があるのではないのでしょうか。

5月26日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より



Empty rectangular box for writing the name.

給食楽しみに勉強もがんばる

中学生 兼吉 幹太
(北海道新得町 13)

ぼくは勉強が苦手で、学校の授業があまり好きではありません。でも唯一ぼくが好きな時間があって、それは給食の時間です。

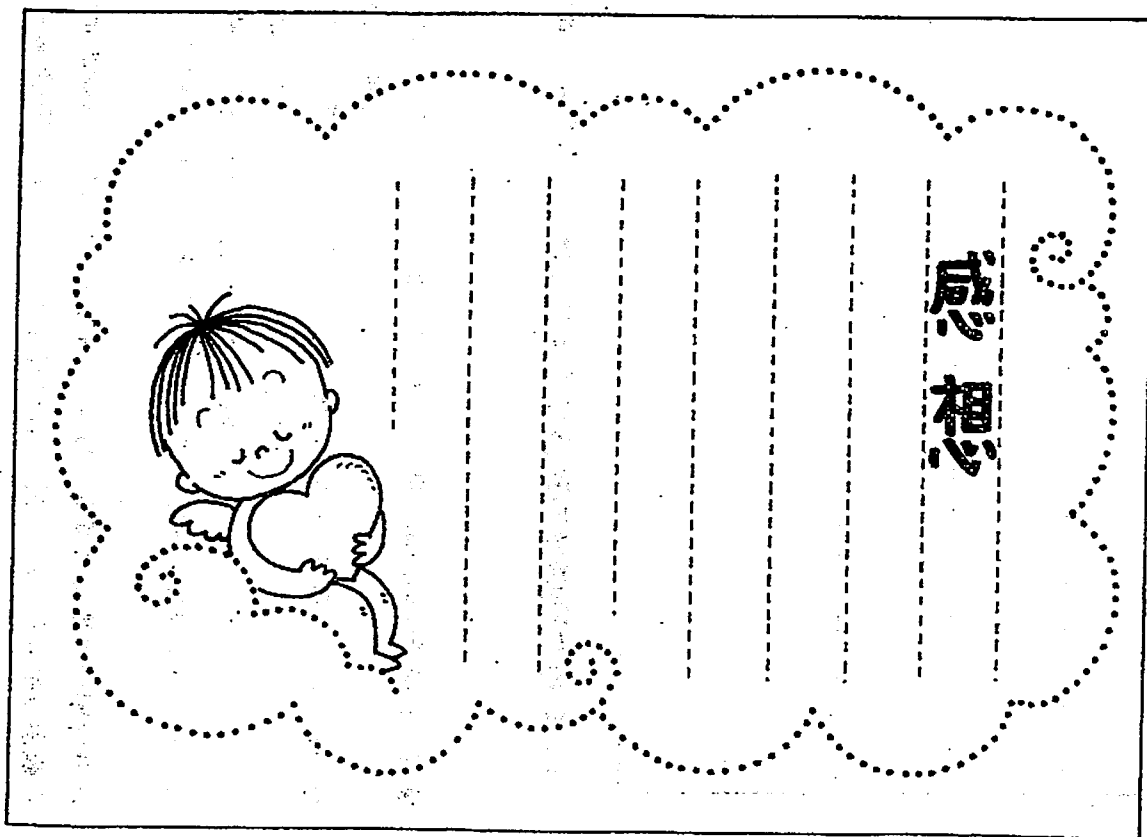
給食は、おいしいだけではなく、授業が嫌になった午前中などは「もう少しで給食の時間だ。あともう少しがんばろう」と、やる気が出てきます。また給食は、午後の部活動などのた

めのパワーもたくわえてくれるのです。

しかも新得町には「新得産給食Day」という日があって、新得産のおいしい食べ物が出てきます。4月はジャガイモ、シイタゲ、みそ、5月はおいしい牛肉を使った給食も出てきて最高でした。ぼくは、転校や進学でこれまで五つの小中学校に通いましたが、いまの中学校の給食が一番おいしいです。

こんなにおいしい給食を作ってくれる給食センターに感謝です。そして、おいしい給食を楽しむにして、勉強も部活動もがんばりたいと思います。

6月9日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より



A large, empty rectangular box with a solid black border, intended for the student to write their name.

不法投棄をしない思いやりを

高校生 横山 史奈
(岐阜県各務原市 16)

ごみ問題が深刻化しています。私はその原因は、人々の心ない行動にあると思っています。使わなくなったテレビや冷蔵庫などの電気製品が不法投棄されていることをニュースで知りました。処分におカネがかかるから捨てたのでしょうか、罪悪感はありませんでしたか。まだ使えま

せんか。壊れていないのに、新しく発売されたからといって買い替えのために捨ててしまっは物が可哀想です。

小さな空き缶などのポイ捨ても立派な不法投棄です。小さいからと軽い気持ちで捨てるのかもしれない。でも、鳥が缶にくちばしを入れてしまったら、川で魚にあたったら、海に流れたらなどと考えてみてください。

日本は何でも手に入る社会ですが、物をもっと大切にしませんか。周りの人のことを思えば、ごみは少しでも減るはず。そんな思いやりであふれる世の中のほうがすてきです。

ふちりき
※不法投棄...捨ててはいけない場所に勝手にごみを捨てること。

5月26日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より

名前



⑤表

① 四つの投書で、自分の納得した投書はどれですか。評価してみましよう。
また、家の人にもその投書に納得したのか聞いてみましょう。

投書	自分	家の人
投書① 加東さん		
投書② 平野さん		
投書③ 山野さん		
投書④ 大木さん		

4・・・とてもそう思う。

3・・・そう思う。

2・・・ちよつと違う。

1・・・違う。

② 自分が選んだ投書の理由や根拠を書こう。

③ 家の人を選んだ投書の理由や根拠を聞いてみよう。

子どもの個性 留年で消すな

高校生 熊澤 里紗

(京都市北区 17)

学力レベルが目標に達しない小・中学生を「留年」させることを検討するよう、橋下徹大阪市長が市教委に指示した。義務教育であっても留年だなんて。私は反対だ。

小・中学生を学力だけで判断し、留年させるのは好ましくないと思う。勉強が得意な子がいれば、運動が得意な子もいるし、ものづくりが

得意な子もいる。それは、子ども一人ひとりの個性であって尊重されるべきだ。勉強ができれば、運動やものづくりは必要ないのか。学力だけが評価されるのは不公平だ。みんな違うからこそ、自分が得意とするものを誇りに思えるのではないだろうか。

とくに小学生は、たくさん遊ぶことが大切だ。子どもは遊びの中から日常的なことを学び、成長するものだ。私自身の経験から、そう思う。そんなころから勉強、勉強となつて、毎日が楽しくなくなってしまうのは、とても悲しい。

りやかん
* 留年 ... 卒業の時期になつても、卒業を延期する。
(進級) (卒業、進級できない)

5月19日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より



名前

投書に変わる

自分の意見も名前

書いてみる

意見

私は、斎藤さんの考えに、(替成・反対)

です。

理由

なぜかというつと、

そがい
*疎外... のけものにする。仲間外れにする。
*逆上... かつなりおこる。

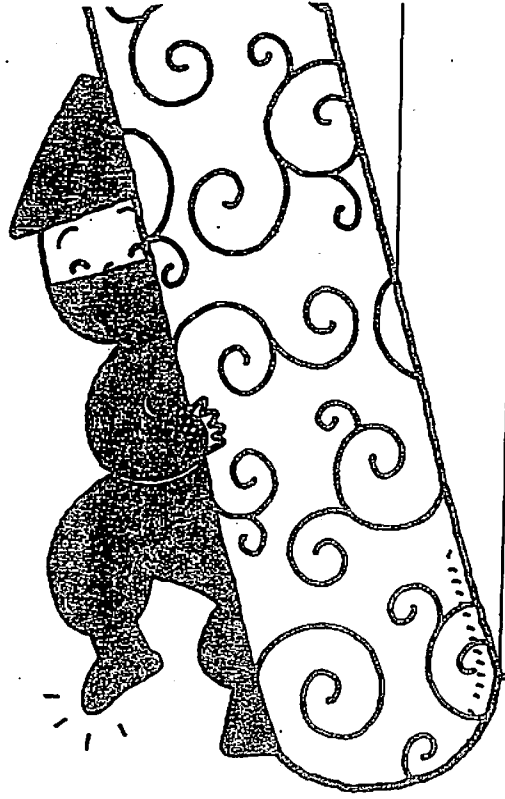
つ、「私を含め大人が知らん顔しているのはおかしい。子どもたちはマナーを知らないのだから周りの人間が教えてやるべきなのだ」と心の中で思ったが、結局言わずじまいに終わった。注意した相手が逆上して暴力沙汰になったというニュースもよく聞くし、現代社会は相手に嫌われ、疎外されることを避けようとする傾向にあるが、このままでは間違ったことがまかり通ってしまい、正しいことが言い出せなくなるだろう。大したことではない、優しく声をかけてあげればいいのか。私は正しいと思ったことを言える人間になりたい。

子どもにマナーを教えよう

浪人生 斎藤 美幸
(神奈川県藤沢市 19)

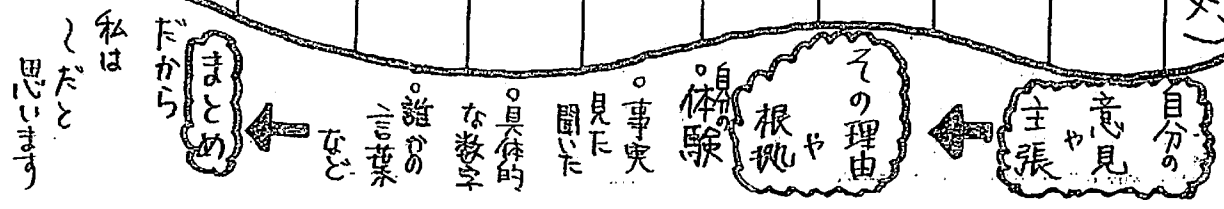
私は最近よく図書館に行くが、気になることがある。他人を注意する人がいないことだ。大型連休中は特に利用者が多く、小さい子どももよく見かけた。大方はルールを守っていたが、なかには館内を裸足で走りまわったり、大声をあげて笑ったりしている子どももいた。遊び盛りなのだからしょうがないとは思いつ

5月19日 朝日新聞 VOICE 声 ~ 若い世代 ~ より



理由

だから私は、



「新聞の投書を読み比べよう」

振り返りカード

名前

◎・・・そう思う。

○・・・まあまあそう思う。

△・・・そう思わない。

29日	28日	27日	26日	25日	22日	
						① 家庭学習が授業の役に立ったか。
						② 今日の学習がよく分かったか。
						③ 今日の宿題を頑張ってみようと思う。